五感をゆさぶる自然素材と「子どもあそび」の深まり

８月

土山　ホースを使って、土を、どんどん水の勢いで、崩していく。

「宝物、みつけたよ！ほら！」土の中から出てきたものを、宝物に見立てる。

「宝さがしよう！」と、話が盛り上がり、宝さがしが始まる。

「大きい宝物、見つけたー！」

どろを、自分の体にぬって遊ぶ。

体、手足、全身に、何度も何度もぬっていく。「気持ちいい！」

土と水を合わせて、どろんこを作る。

できたどろんこに、木の枝をたくさん集めてきて、立てていく。葉っぱも飾り、「ケーキできたよ！」「ろうそくがいっぱいだよ！」

木板を運んできて、土山のてっぺんから、木板の上をすべってみる。

すべりが悪く、木板に、どろんこをぬり始める。「こうしたらすべるんじゃない？」

順番に、ぬっては すべり、くり返し、遊んでいく。「すべるよ！」

「大きいの、ゲットした！」

虫　虫を見つけると、すぐ、友だちがかけつけ、触ってみたりする。

木　木切れを組み合わせて、シーソー作り。

「こっちの木は？」と、高さをかえて、いろいろと試してみる。